

(Windows 10 Version)

Excel-2016-05-上級



体系学習★初歩からのPCテキスト

第 01 章: 入力規則	6
01 章 01 節… 単純な日付の入力規則	6
01 章 02 節… 数値の入力規則	8
01 章 03 節… 他のセルを参照する入力規則.....	9
01 章 04 節… 入力時メッセージ	10
01 章 05 節… リスト型入力規則	11
01 章 06 節… セル群を使ったリスト型入力規則.....	12
01 章 07 節… 他のセルのみを判断対象とする入力規則.....	13
01 章 08 節… 入力規則の強さを変える	14
01 章 09 節… 無効データのマーク	16
01 章 10 節… 日本語入力システムのコントロール.....	16
01 章 11 節… シートの保護	19
01 章 12 節… シート保護の例外セルを作成する・[ロック]をオフに	21
01 章 13 節… まとめ.....	22
01 章 14 節… 練習問題	22
01 章 15 節… 練習問題	24
第 02 章: 複雑な条件付き書式とユーザー定義の表示形式.....	26
02 章 01 節… 復習：基本的な条件付き書式.....	26
02 章 02 節… 数式を使用する条件付き書式.....	27
02 章 03 節… 正の場合と負の場合の表示形式を分ける	30
02 章 04 節… ゼロの場合の表示形式	31
02 章 05 節… 場合分け表示形式と文字色の設定.....	32
02 章 06 節… 表示形式：数値の場合と文字列の場合を分けて設定する	32
02 章 07 節… 数値を 1,000 単位にして表示する	33
02 章 08 節… 「会計」表示形式	35
02 章 09 節… まとめ	37
02 章 10 節… 練習問題	38
第 03 章: その他の表示形式.....	42
03 章 01 節… 文字データの作成. 「」引用符の利用.....	42
03 章 02 節… 文字データ入力時に先に表示形式を設定しておく	43
03 章 03 節… 時刻の表示形式 1・時：分	44
03 章 04 節… 時刻の表示形式 2・時：分：秒	45
03 章 05 節… 時刻のユーザー定義表示形式・分：秒.....	47
03 章 06 節… コンマ秒以下の設定	49
03 章 07 節… 24 時間・60 分・60 秒を超える表示.....	51
03 章 08 節… まとめ	52
03 章 09 節… 練習問題	52
第 04 章: ゴールシークとシナリオの登録.....	54
04 章 01 節… 準備と手動シミュレーション	54
04 章 02 節… ゴールシークの使用	55
04 章 03 節… シナリオの登録・複数の値をセルに登録してシミュレーション	56

04章 04節	まとめ	60
04章 05節	練習問題	60
第05章	統合	62
05章 01節	統合の準備・統合とは？	62
05章 02節	統合の操作	62
05章 03節	参考：その他の統合の基準	64
05章 04節	その他の集計(平均)	64
05章 05節	自動リンクする統合結果表の作成	65
05章 06節	まとめ	67
05章 07節	練習問題	67
05章 08節	練習問題	69
第06章	ピボットテーブル【Pivot table】1	70
06章 01節	ピボットテーブルの作成と利用	70
06章 02節	ピボットテーブルの調整	73
06章 03節	ピボットテーブルオプション 空白セルに表示する値	74
06章 04節	ピボットテーブルのデザイン	75
06章 05節	集計の方法を変える(レコード数を調べる)	76
06章 06節	フィールドの削除・入れ替え	77
06章 07節	数値フィールドに一括で表示形式を設定する	78
06章 08節	日付フィールドの自動グループ化	79
06章 09節	日付フィールドのグループ解除	80
06章 10節	まとめ	82
06章 11節	練習問題	83
06章 12節	練習問題	85
第07章	ピボットテーブル【Pivot table】2	87
07章 01節	値フィールドの追加	87
07章 02節	アイテムの入れ替えと並べ替え	89
07章 03節	ピボットテーブルの更新	90
07章 04節	分析元範囲・データソースの変更	91
07章 05節	計算の種類を変更する(%・割合であらわす)	95
07章 06節	詳細の表示	97
07章 07節	抽出状態からの分析	98
07章 08節	ページを分ける	99
07章 09節	[スライサーの挿入]を利用してフィルターをする	100
07章 10節	[タイムライン]で日付・時刻のフィルターをする	102
07章 11節	まとめ	103
07章 12節	練習問題	103
07章 13節	練習問題	106
第08章	フィルターオプション	110
08章 01節	標準のフィルターの復習	110
08章 02節	OR条件のフィルターオプションの利用とワイルドカード(*)	112

08章03節	抽出条件を「～～で始まる」の形式で指定する	114
08章04節	完全一致検索	115
08章05節	AND条件のフィルターオプション	116
08章06節	絞り込み条件(AND条件)の追加	117
08章07節	不等号の使用	118
08章08節	～を含む	119
08章09節	OR条件とAND条件の組み合わせ	119
08章10節	まとめ	120
08章11節	練習問題	121
08章12節	練習問題	124
第09章	高度なグラフとその調整	127
09章01節	日付軸をテキスト軸に	127
09章02節	縦軸目盛線と軸位置	129
09章03節	多項式近似曲線とオプション・折れ線グラフのスムージング	130
09章04節	散布図	132
09章05節	R-2乗値(あーるじじょうち)と数式を表示して相関性を調べる	133
09章06節	ピボットグラフ	134
09章07節	補助目盛線の設定	137
09章08節	まとめ	139
09章09節	練習問題	139
09章10節	練習問題	143
第10章	マクロ1	146
10章01節	マクロとは?	146
10章02節	マクロの登録と実行	147
10章03節	登録したマクロの削除	149
10章04節	選択済みの範囲に対して処理をするマクロ	150
10章05節	マクロ付きファイルの保存	152
10章06節	クイックアクセスツールバーにマクロを割り当てる	154
10章07節	フォームコントロール・マクロボタン	156
10章08節	スピンボタンの作成(フォームコントロール)	158
10章09節	まとめ	161
10章10節	練習問題	161
第11章	マクロ2	164
11章01節	絶対参照マクロの復習	164
11章02節	選択済み範囲に実行するマクロの復習	165
11章03節	相対参照マクロ	167
11章04節	ショートカットキーの割り当て	169
11章05節	Visual Basic Editorでマクロを修正	171
11章06節	Visual Basic Editorでマクロを複製	172
11章07節	Visual Basic EditorからRGB関数を使って色の調整	175
11章08節	まとめ	176

11 章 09 節… 練習問題..... 176

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記していません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No:excel-2016-05-上級-170614
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 一円

第01章:入力規則

01章01節…単純な日付の入力規則

(01)以下のような表を作成しましょう。[値引後単価][小計]欄は計算式で作成してあります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6					¥0		¥0					柴山	
7					¥0		¥0						
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						

(02)B列には、「2016年の4月～5月の日付」のみ入力できるように設定します。それ以外は入力できないよう制御したいのです。特定のデータしか入力できないよう制御する機能が「入力規則」です。B3:B10を選択し、【データ】タブから[データの入力規則][データの入力規則]をクリックしてください。

2. 【データ】タブに

3. [データの入力規則][データの入力規則]をクリック

1. B3:B10 を選択

(03)入力可能な値の範囲を【設定】タブで指定します。[入力値の種類]を「日付」、[データ]を「次の値の間」とします。あとは「2016/4/1～2016/5/31」を指定しOKします。

1. [入力値の種類]を「日付」に

2. [データ]を「次の値の間」に

3. 「2016/4/1～2016/5/31」を指定

(04)B6 で「2016/4/14」の入力を試してみましょう。

B6		16/4/14										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6	16/4/14										柴山	
7												
8												
9				¥0		¥0						
10				¥0		¥0						
11												

B6に「2016/4/14」を入力

(05)問題なく入力が完了しました。

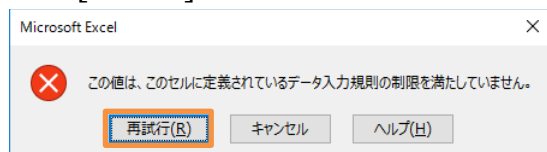
続けてB7で「2016/7/15」の入力を試してみましょう。

B7		16/7/15										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6	2016/4/14			¥0		¥0					柴山	
7	16/7/15											
8												
9				¥0		¥0						
10				¥0		¥0						
11												

B7に「2016/7/15」を入力

(06)入力規則に違反しているので、以下のようなメッセージが表示されます。

[再試行]すると、入力の訂正ができます。



(07)今度は、入力規則に適合している値を入力します。「2016/5/2」を入力しましょう。

B7		16/5/2										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6	2016/4/14			¥0		¥0					柴山	
7	16/5/2			¥0		¥0						
8												
9				¥0		¥0						
10				¥0		¥0						
11												

B7で「2016/5/2」を入力

(08)問題なく入力が完了しました。このようにセルに[入力規則]を設定すると、規則に違反する値の入力ができなくなるのです。

B7		2016/5/2										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6	2016/4/14			¥0		¥0					柴山	
7	2016/5/2			¥0		¥0						
8				¥0		¥0						
9				¥0		¥0						
10				¥0		¥0						
11												

01章02節…数値の入力規則

(01)C列の[基本単価]においては、0以上の数値・整数しか入力できないようにします。マイナスの値や小数値を入力不可とするのです。選択して、[データの入力規則]をクリックしてください。

1. C3:C10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送税込	済	藤井		中根
6		2016/4/14			¥0		¥0					柴山
7		2016/5/2			¥0		¥0					
8					¥0		¥0					
9					¥0		¥0					
10					¥0		¥0					
11					¥0		¥0					

(02)[入力値の種類]を「整数」に、[データ]を「次の値以上」とします。
[最小値]は「0」としてOKします。

1. [入力値の種類]を「整数」に

2. [データ]を「次の値以上」に

3. [最小値]を「0」に

(03)C6に「-500」と入力しましょう。

C6に「-500」と入力

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送税込	済	藤井		中根
6		2016/4/14	-500		¥0		¥0					柴山
7		2016/5/2			¥0		¥0					
8					¥0		¥0					

(04)入力不可のメッセージが表示されます。[再試行]しましょう。

入力をしていない際は[キャンセル]を使う

(05)次の操作に進む前に、C6に「1350」、C7に「670」を入力してください。

C6に「1350」、C7に「670」を入力

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送税込	済	藤井		中根
6		2016/4/14	1350		¥1,350		¥0					柴山
7		2016/5/2	670		¥670		¥0					
8					¥0		¥0					

01章03節…他のセルを参照する入力規則

(01)D 列の[値引額]に入力規則を設定します。その際、左の[基本単価]を超えない値のみ入力可能とします。C 列の[基本単価]を超える値が入力できないようにするのです。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

1. D3:D10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
6		2016/4/14	¥1,350		¥1,350						柴山
7		2016/5/2	¥670		¥670						
8					¥0						
9					¥0						
10					¥0						

(02)[入力値の種類]は「整数」、[データ]は「次の値以下」にします。[最大値]では、となりの C 列のセル・[基本単価]のセルを指定します。ただし先頭だけでよいので C3 を指定します。これで各セルの左のセルが比較対象となるのです。設定後は OK します。

1. [入力値の種類]は「整数」に

2. [データ]は「次の値以下」に

3. [最大値]は「C3」に

	A	B	C	D	E
1					
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140
6		2016/4/14	¥1,350		¥1,350
7		2016/5/2	¥670		¥670
8					¥0
9					¥0
10					¥0

(03)D6 に C6 の「1350」より大きい数値、「2000」を入力してみましょう。

D6 に「2000」を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140							中根	
6		2016/4/14	¥1,350	2000	¥1,350							柴山	
7		2016/5/2	¥670		¥670								

(04)値引額が基本単価より大きくなる場合には入力が許可されません。[再試行]しましょう。

Microsoft Excel

この値は、このセルに定義されているデータ入力規則の制限を満たしていません。

再試行(R) キャンセル ヘルプ(H)

(05)「200」と入力しなおしてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価							担当者	担当者一覧
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900							藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800					長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済			中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2016/5/2	¥670		¥670		¥0						
8					¥0		¥0						

01章04節…入力時メッセージ

(01)D列をアクティブにした際に、メッセージが表示されるようにします。

入力規則の[入力時メッセージ]が利用できます。

1. D3:D10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

(02)[入力時メッセージ] タブの[タイトル]に「値引額に注意」と指定します。

[メッセージ]に「基本単価以下の整数を入力してください。」と指定し OK します。

1. 【入力時メッセージ】タブの[タイトル]へ「値引額に注意」と入力

2. [メッセージ]に「基本単価以下の整数を入力してください。」と入力

(03)D7に「50」と入力しましょう。アクティブにした際に入力時メッセージが表示されます。[タイトル]は太字で表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						
12					値引額に注意 基本単価以下の整数 を入力してください。								

01章05節…リスト型入力規則

(01)I列の[引渡]欄には「済」か「未」しか入力できないよう設定します。

選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

2. [データの入力規則]をクリック

1. I3:I10を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8							¥0						
9							¥0						
10							¥0						
11													

(02)【設定】タブにて[入力値の種類]を「リスト」にすると、使用できる文字を限定することができます。選択肢としたい文字を[元の値]欄に指定します。値は半角カンマ(,)で区切って指定します。「済,未」を指定してOKします。

1. 【設定】タブで[入力値の種類]を「リスト」に

2. [元の値]に「済,未」を指定

(03)セル I6 に「未」を入力してみます。アクティブにすると、下向き三角が表示されます。クリックすると、指定した選択肢が表示されます。「未」を選びましょう。

セル I6 から「未」を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8							¥0						
9							¥0						
10													

(04)I7は「済」にします。

セル I7 は「済」に

アクティブにした状態で [Alt]+[↓]キーを使うと 選択肢が開く

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済				
8							¥0						
9							¥0						
10													

01章06節…セル群を使ったリスト型入力規則

(01)J列には「藤井」「長谷川」「中根」「柴山」のみ入力できるように規則を設定します。

入力の選択肢としたい値が、L列のようにセルへ書き出されていれば、それを利用することもできるのです。

規則を設定したいJ列を選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

2. [データの入力規則]をクリック

1. J3:J10 を選択

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未			柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済				
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						

(02)[入力値の種類]は「リスト」にします。[元の値]には L3:L6 をドラッグで指定します。指定後は OK しましょう。

1. [入力値の種類]は「リスト」に

2. [元の値]に L3:L6 を指定

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2		受付日								柴山		担当者一覧	
3		2016/4/2								藤井		藤井	
4		2016/4/5								長谷川		長谷川	
5		2016/4/11								中根		中根	
6		2016/4/14								柴山		柴山	
7		2016/5/2											

(03)J6 に「中根」、J7 に「長谷川」を選択肢から指定しましょう。

J6 に「中根」、J7 に「長谷川」を指定

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未			柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済	藤井			
8					¥0		¥0			長谷川			
9					¥0		¥0			中根			
10					¥0		¥0			柴山			
11					¥0		¥0						

01章07節…他のセルのみを判断対象とする入力規則

(01)この表では[購入数量]欄へ入力すると、計算により[小計]欄に反映されます。

今から[購入数量]欄に、[小計]が「10万円」を超えるような数値が入力できないよう設定してみます。選択して、[データの入力規則]をクリックしてください。

1. F3:F10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡			
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済			
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根
6	2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未	長谷川		柴山
7	2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済			
8				¥0		¥0					
9				¥0		¥0					
10				¥0		¥0					
11				¥0		¥0					

(02)入力規則を設定する個所は F 列ですが判断の根拠となる個所は G 列です。このように入力規則を設定する個所と判断対象の個所が異なる場合には[入力値の種類]を「ユーザー設定」とし、[数式]欄に論理式を指定します。「G 列の値が 10 万円以下」と指定しますが使うのは先頭の G3 だけです。「=G3<=100000」と指定・OK します。

1. [入力値の種類]を「ユーザー設定」に

2. [数式]は「=G3<=100000」に

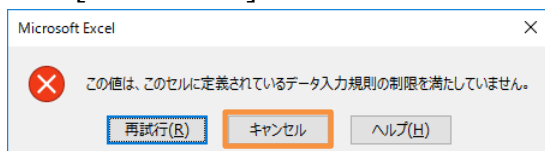
	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡			
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済			
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根
6	2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未	長谷川		柴山
7	2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済			
8				¥0		¥0					
9				¥0		¥0					
10				¥0		¥0					
11				¥0		¥0					

(03)F6 に「300」と入力してみましょう。小計が 10 万円を超えそうですが…。

F6 に「300」と入力

	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡			
3	2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済			
4	2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5	2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根
6	2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	300	¥0		未	長谷川		柴山
7	2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済			
8				¥0		¥0					
9				¥0		¥0					
10				¥0		¥0					
11				¥0		¥0					

(04)F6 を使って計算している G6 が 10 万円を超えてしまうため入力できません。
[キャンセル]してください。



01章08節…入力規則の強さを変える

(01)F 列には、G 列の値が 10 万円を超えてしまうような値の入力することは許可されていません。しかし入力規則の[エラーメッセージ スタイル]を変更することで、メッセージは注意のために表示されますが、10 万円を超えてしまう値を入力可能にさせることができます。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

2. [データの入力規則]をクリック

1. F3:F10 を選択

受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未	長谷川	柴山
2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済		

(02)[エラーメッセージ] タブの[スタイル]を「停止」から「注意」にします。すると規則外の入力をした際にメッセージは表示されるものの、そのまま確定させることができるようになります。また[タイトル][エラーメッセージ]欄で、規則外入力時のメッセージを指定することができます。以下のように設定して OK しましょう。

1. 【エラーメッセージ】タブに

2. [スタイル]を「注意」に

3. [タイトル]を「確認してください」に

4. [エラーメッセージ]を「10万円以上の場合は先払いになります。」に

(03)セル F6 に「100」と入力してみましょう。

F6 に「100」と入力

受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥0		未	長谷川	柴山
2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済		

(04)スタイルを「停止」から「注意」にした結果、[はい][いいえ][キャンセル]の選択肢が表示されます。[いいえ]だと再入力を促されますが、[はい]だと規則に違反していても確定されます。押してみましょう。

[タイトル][エラーメッセージ]で指定した文字はここで表示される

(05)[注意]の場合は、規則に違反した値も入力できるのです。ただしその場合は、前の図のように注意メッセージが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	長谷川		柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済				
8					¥0		¥0						

(06)スタイルには「停止」「注意」の他に「情報」もあります。設定してみます。

2. [データの入力規則]をクリック

1. F3:F10 を選択

(07)[スタイル]を「情報」にしてOKしましょう。

[スタイル]を「情報」に

(08)F7 へ入力規則に違反する値を入力してみましょう。「300」と入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	長谷川		柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥0		済				
8					¥0		¥0						

F7に「300」を入力

(09)「情報」を選択した場合は、規則違反時に[OK]と[キャンセル]が選択できます。[OK]を使うと、違反のまま入力が確定されます。OKしましょう。

(10)「情報」の場合も、「注意」と同様、違反値を入力することができるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	長谷川		柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済				

01章09節…無効データのマーク

(01)F 列には入力規則に違反しているセルがいくつか存在します。[無効データのマーク]を使うと規則違反のセルにマークが付きます。[データの入力規則]から実行します。

[データの入力規則]から[無効データのマーク]をクリック

(02)入力規則に違反しているセルにマークが付きました。

次の操作に入る前に[入力規則マークのクリア]で消去しましょう。

[データの入力規則]から[入力規則マークのクリア]をクリック

01章10節…日本語入力システムのコントロール

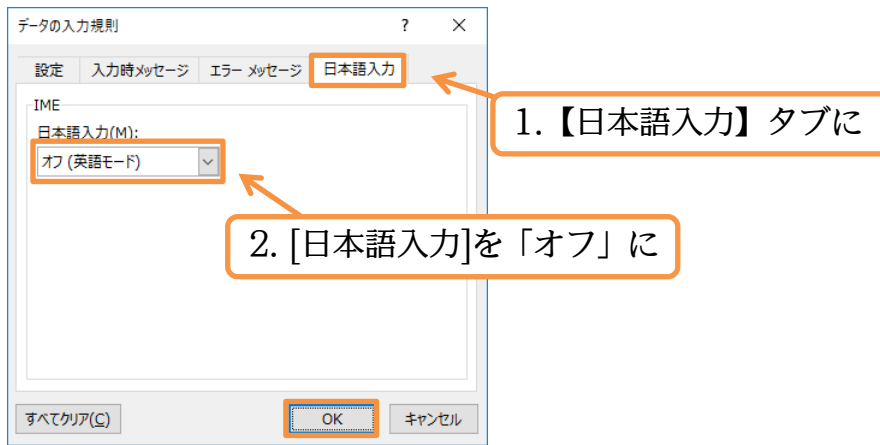
(01)セルをアクティブにした際に自動的に入力モードを切り替えさせる設定をしておくことができます。B 列では自動的に「半角英数」モードになるよう設定します。

入力規則の「日本語入力」を使用します。選択して[データの入力規則]を使います。

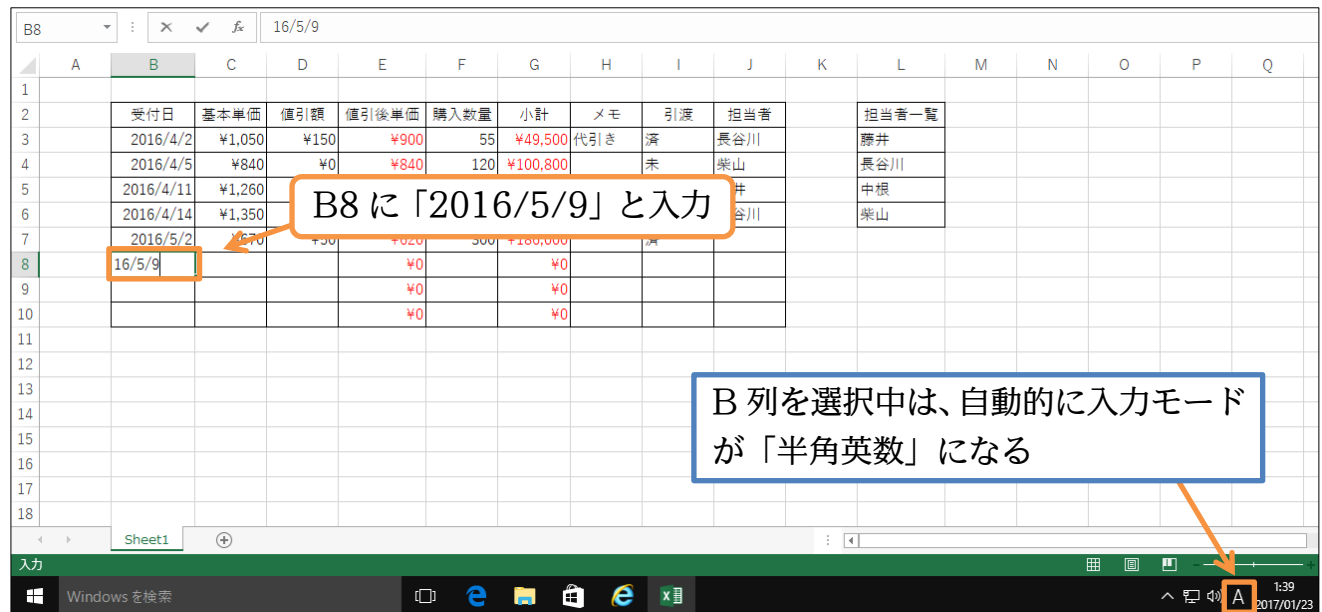
1. B3:B10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

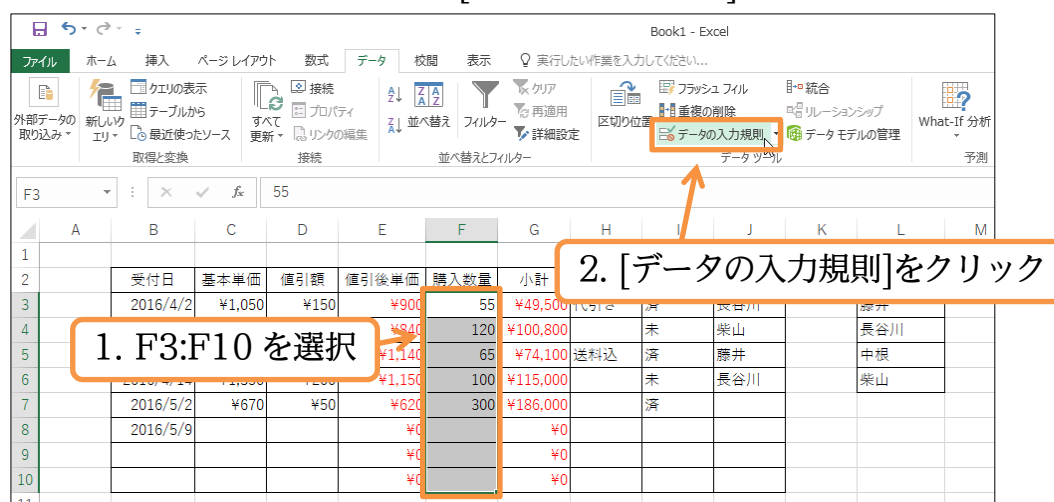
(02)【日本語入力】タブで【日本語入力】を「オフ」にします。するとこの範囲をアクティブにした際、自動的に入力モードが「半角英数」になるのです。設定後はOKします。



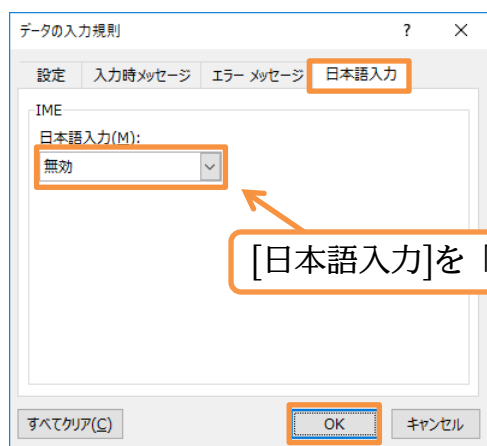
(03)B列をアクティブにすると自動的に入力モードが「半角英数」になります(「ひらがな」などに変更することは可能)。それではB8に「2016/5/9」を入れてみましょう。



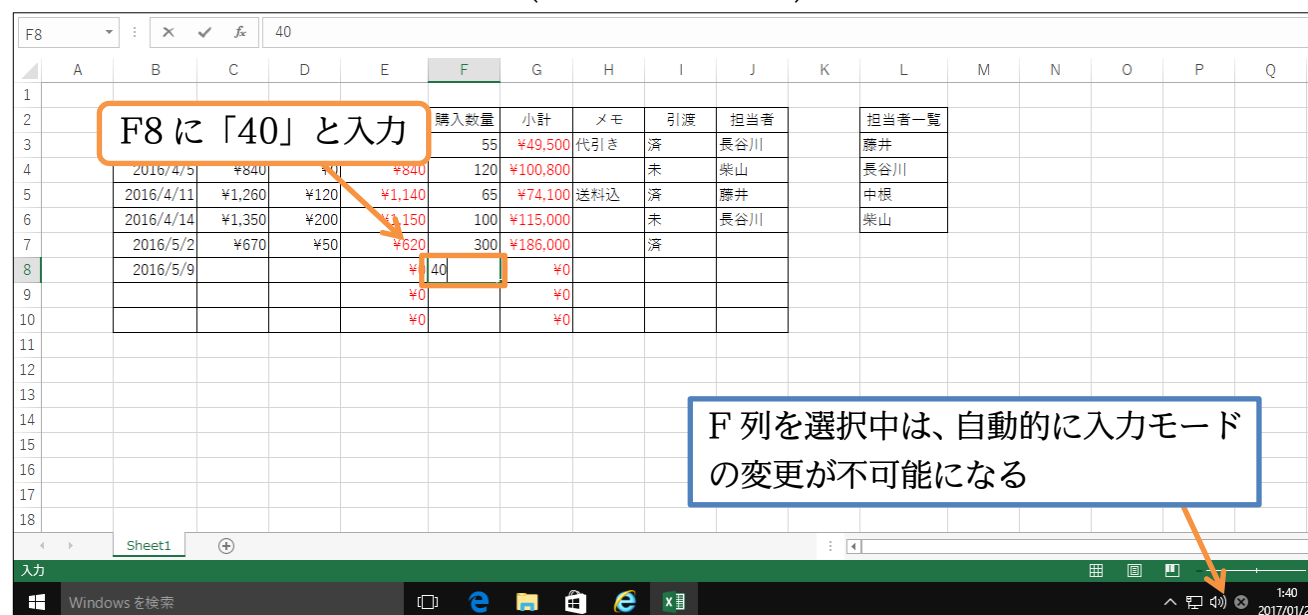
(04)特定のセルをアクティブにした際は、入力モードの変更ができないよう設定することもできます。半角英数記号しか入力できないように設定できるのです。F列の【購入数量】欄に設定します。選択して【データの入力規則】をクリックしてください。



(05)[日本語入力]を「無効」にすると、半角英数字・記号は入力できますが、入力モードの変更ができない状態になります。設定してOK しましょう。



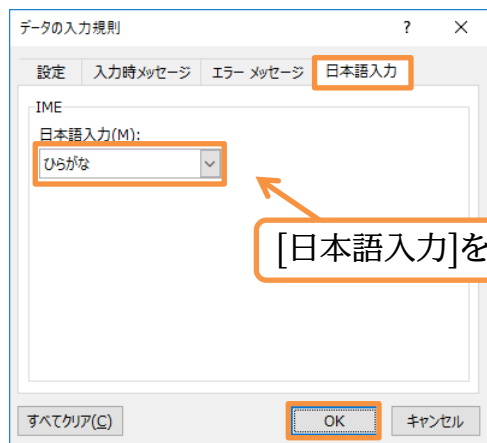
(06)F8 に「40」と入力してみましょう。その際、[入力モード]が変更できない状態になっていることを確認してください(ボタンが非表示に)。



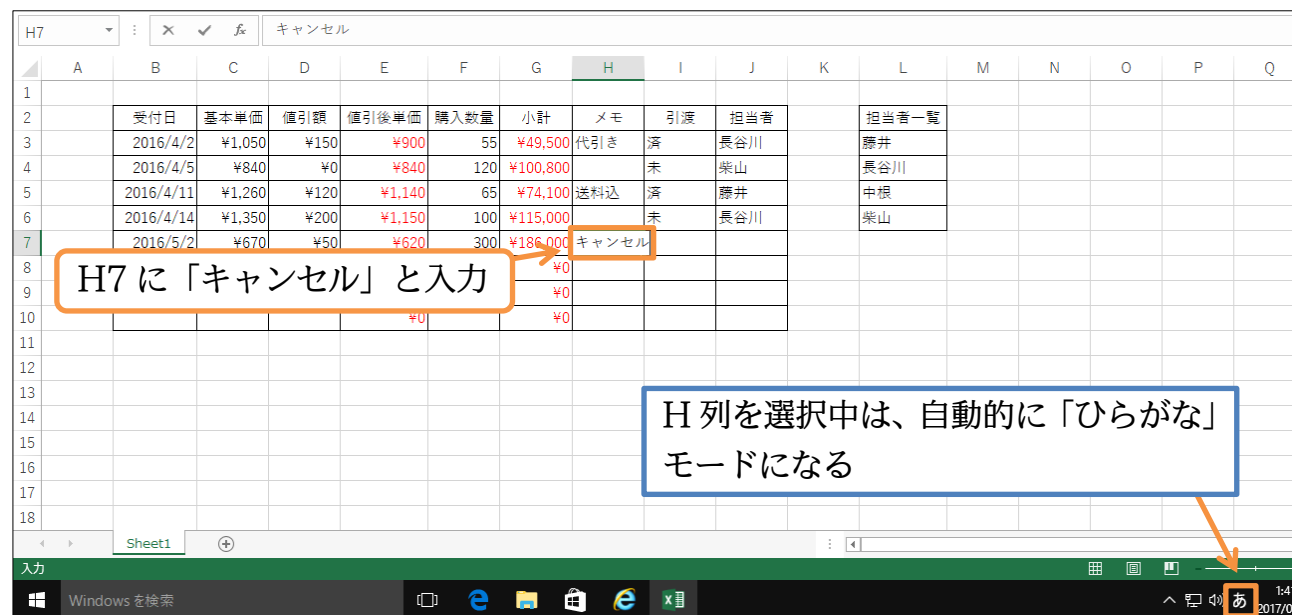
(07)H 列の[メモ]欄をアクティブにしている際は、自動的に「ひらがな」モードになるよう設定します。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。



(08)[日本語入力]を「ひらがな」にすると、アクティブにした際は自動的に[ひらがな]モードになります。設定してOKしましょう。



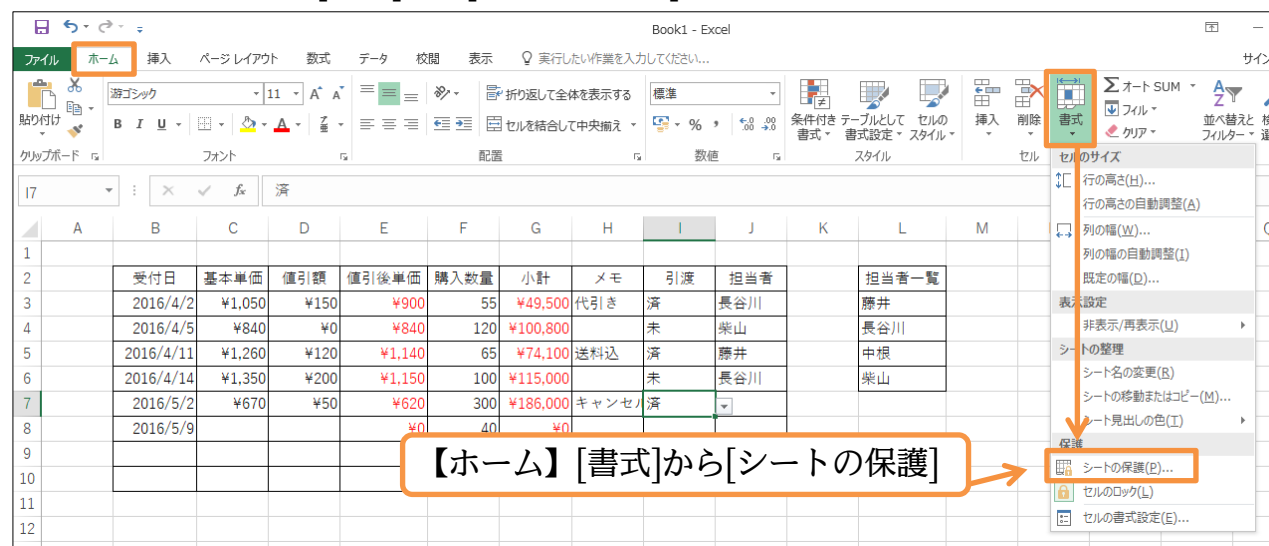
(09)それではセル H7 に「キャンセル」と入力してみましょう。「半角英数」モードになっていても、H列をアクティブにすると自動的に「ひらがな」モードになります。



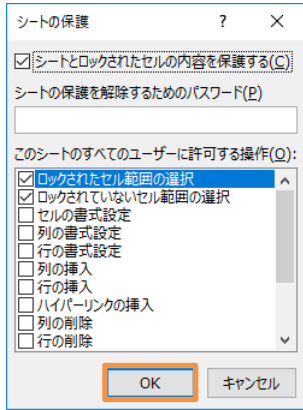
01章11節…シートの保護

(01)このワークシートを操作できないように保護します。

【ホーム】タブの[書式]から[シートの保護]を設定します。



(02)パスワードは設定せずに OK します。



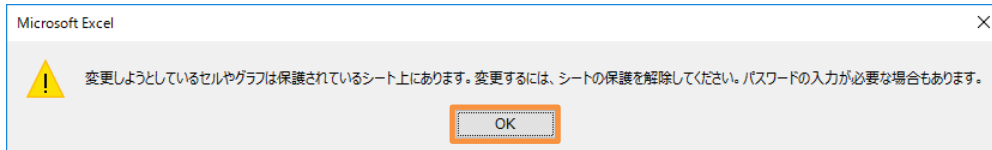
(03)保護したワークシートには入力できません。

B9 をアクティブにして何かキーを入力してみましょう。

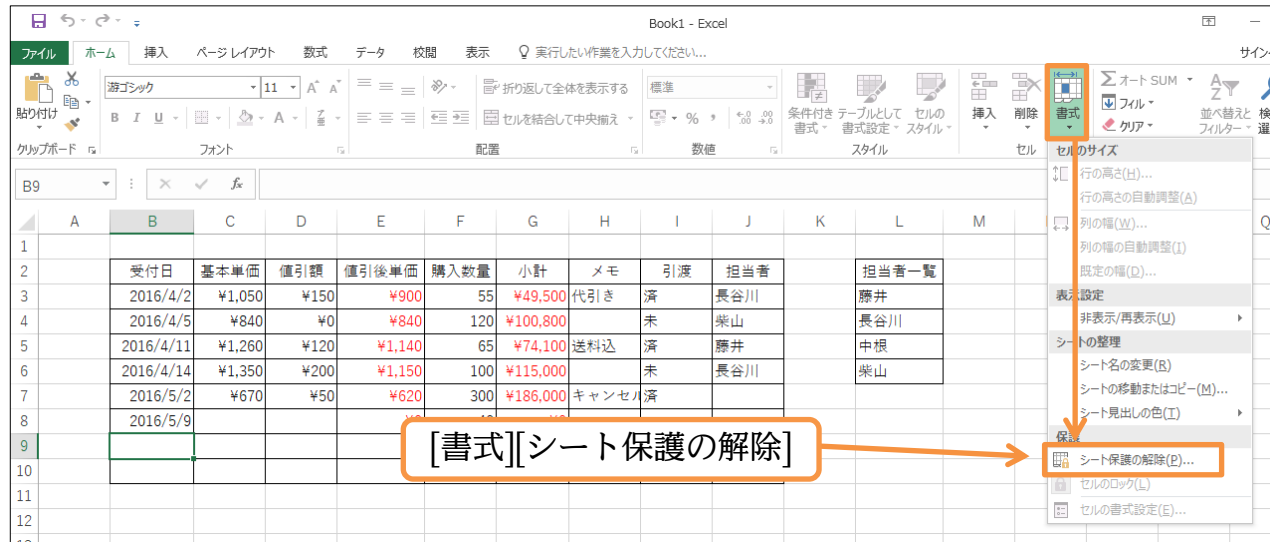
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	長谷川		柴山	
7		2016/5/2	¥670	¥50									
8		2016/5/9											
9													
10													
11													

B9 で何か入力するが...

(04)このワークシートは保護されているので入力が許可されません。OK します。



(05)次へ進む前にシートの保護を解除しましょう。



[書式][シートの保護の解除]

01章12節…シート保護の例外セルを作成する・[ロック]をオフに

(01)再度このシートを保護します。ただし B3:D10,F3:F10,H3:J10 は保護の対象外とします。対象外とするセルの登録は[セルの書式設定]でおこないます。

1. B3:D10,F3:F10,H3:J10 を選択

2. [セルの書式設定]へ

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1												
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧
3		2016/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井
4		2016/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川
5		2016/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根
6		2016/4/14	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	長谷川		柴山
7		2016/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000	キャンセル	済			
8		2016/5/9			¥0	40	¥0					
9					¥0		¥0					
10					¥0		¥0					
11												
12												

(02)【保護】タブにします。通常はすべてのセルにおいて[ロック]のチェックが付いた状態になっています。このチェックを解除すると、そのセルはシート保護の対象外になります。

【保護】タブの[ロック]のチェックを解除

[ロック]のチェックを解除→シート保護の対象外に！

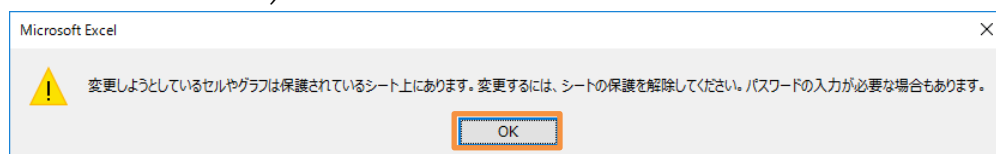
(03)それでは再度シートの保護をしてください(次のパスワード欄は空欄のまま OK)。

【ホーム】 [書式]から[シートの保護][OK]

(04)C8:D8 に「540,60」と入力します。ここはシート保護の対象外なので入力可能です。
次に E8 に何か入力してみましょう。ここは保護されています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													

(05)セル E8 は保護されているので入力が許可されません。OK します。[シートの保護]を使って、特定の個所以外を保護できるのです。完成後はこのファイルは閉じます(必要に応じて保存)。



01章13節…まとめ

- ◆ セルに入力可能とする値を制限する機能が「入力規則」です。
- ◆ 入力規則を使用する際には、入力可能な最小値・最大値を指定します。
- ◆ 入力可能な値を、選択肢から選べるようにすることもできます。
- ◆ 入力規則のスタイルには「停止」「注意」「情報」があります。「停止」以外を選ぶと、規則に違反する値の入力も可能になります。
- ◆ 入力規則を使って、自動的に入力モードを変更させる設定ができます。
- ◆ シートは操作されないよう保護できます。シート保護の対象外のセルも作成可能です。

01章14節…練習問題

(01)左のような表を作成しましょう。続けてセル C3:C14 に「男」「女」だけをリスト形式で入力できるように設定しましょう。設定後は右の表のように入力します。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

→ → →

{Alt}+{↓}キーでアクティブセルのリストを展開できる

(02)セル D3:D14 に、「6-12」の整数だけ入力できるように設定します。

設定後は以下のように入力しましょう。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地	
3		高野	男	7			
4		山本	女	9			
5		佐田	女	8			
6		熊谷	男	12			
7		日野	男	6			
8		大橋	女	7			
9		黒田	女	8			
10		青山	男	11			
11		柴本	女	8			
12							
13							
14							
15							

(03)セル E3:E14 には「12:00」より前の時刻のみ入力できるように設定します。

および、アクティブ時には日本語入力システムが「無効」になるよう設定します。

設定後は以下のように入力しましょう。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地	
3		高野	男	7	8:15		
4		山本	女	9	8:30		
5		佐田	女	8	9:10		
6		熊谷	男	12	9:10		
7		日野	男	6	10:50		
8		大橋	女	7	11:00		
9		黒田	女	8	11:20		
10		青山	男	11	11:20		
11		柴本	女	8	11:30		
12							
13							
14							
15							

(04)セル H2:H6 に以下のようなリストを作成します。また F3:F14 には H3:H6 のデータを選択肢にもつドロップダウンリストで入力できるように設定してください。

設定後は以下のように入力しましょう。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地		目的地一覧	
3		高野	男	7	8:15	藤波パーク		第一臨海公園	
4		山本	女	9	8:30	池中公園		池中公園	
5		佐田	女	8	9:10	第一臨海公園		藤波パーク	
6		熊谷	男	12	9:10	中央森林公園		中央森林公園	
7		日野	男	6	10:50	第一臨海公園			
8		大橋	女	7	11:00	池中公園			
9		黒田	女	8	11:20	中央森林公園			
10		青山	男	11	11:20	中央森林公園			
11		柴本	女	8	11:30	池中公園			
12									
13									
14									
15									

{Alt}+{↓}キーでアクティブセルのリストを展開できる

01章15節…練習問題

(01)以下のように、割引チケットの利用管理表を作成しましょう。E列の「合計」には「コース金額」×「人数」の計算式を入力しておきます。この表はある料理店で使われた割引チケットの管理表です。G列の「お支払額」は「合計－割引額」とします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2016/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4					¥0		¥0	
5					¥0		¥0	
6					¥0		¥0	
7					¥0		¥0	
8					¥0		¥0	
9					¥0		¥0	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15					¥0		¥0	

(02)セル B3:B14 には「2016/7/1」から「2016/7/31」の日付のみ入力できるように設定しましょう。日本語入力システムは「無効」にします。設定後は以下のように入力しましょう。また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2016/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4		2016/7/2			¥0		¥0	
5		2016/7/6			¥0		¥0	
6		2016/7/8			¥0		¥0	
7		2016/7/11			¥0		¥0	
8		2016/7/11			¥0		¥0	
9		2016/7/12			¥0		¥0	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15					¥0		¥0	

(03)セル C3:C14 には「2800」か「3500」のみをドロップダウンリスト形式で入力できるように設定しましょう。また入力時メッセージ「{Alt}キー+{↓}キーで選択」を設定します。設定後は以下のように入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2016/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4		2016/7/2	¥3,500		¥0		¥0	
5		2016/7/6	¥2,800		¥0		¥0	
6		2016/7/8	¥3,500		¥0		¥0	
7		2016/7/11	¥3,500		¥0		¥0	
8		2016/7/11	¥2,800		¥0		¥0	
9		2016/7/12	¥2,800		¥0		¥0	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15					¥0		¥0	

(04)割引チケットは、原則として売上が「13000」円以上の場合のみ利用できます。セル D3:D14 には、[合計]欄が「13000」より小さくなるような値を入力できないよう設定してください。スタイルは「注意」とし、エラー時にはメッセージ「チケット利用対象外です」が表示されるようにします。日本語入力システムは「無効」にします。設定後は以下のように人数を入力してください。D8 は例外的な入力値です。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2016/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4		2016/7/2	¥3,500	5	¥17,500		¥17,500	
5		2016/7/6	¥2,800	5	¥14,000		¥14,000	
6		2016/7/8	¥3,500	4	¥14,000		¥14,000	
7		2016/7/11	¥3,500	8	¥28,000		¥28,000	
8		2016/7/11	¥2,800	4	¥11,200		¥11,200	
9		2016/7/12	¥2,800	7	¥19,600		¥19,600	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15								

(05)I2:I6 に以下のようなリストを追加してください。また F3:F14 には、I3:I6 の値のみリスト形式で入力できるよう設定してください。設定後は以下のように入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額		チケット価格	
3		2016/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800		¥500	
4		2016/7/2	¥3,500	5	¥17,500	¥3,000	¥14,500		¥1,000	
5		2016/7/6	¥2,800	5	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥2,000	
6		2016/7/8	¥3,500	4	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥3,000	
7		2016/7/11	¥3,500	8	¥28,000	¥500	¥27,500			
8		2016/7/11	¥2,800	4	¥11,200	¥2,000	¥9,200			
9		2016/7/12	¥2,800	7	¥19,600	¥3,000	¥16,600			
10					¥0		¥0			
11					¥0		¥0			
12					¥0		¥0			
13					¥0		¥0			
14					¥0		¥0			
15										

(06)このワークシートは以下の赤枠内を除いて保護します。保護後は 2 件分のレコードを追加してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額		チケット価格	
3		2016/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800		¥500	
4		2016/7/2	¥3,500	5	¥17,500	¥3,000	¥14,500		¥1,000	
5		2016/7/6	¥2,800	5	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥2,000	
6		2016/7/8	¥3,500	4	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥3,000	
7		2016/7/11	¥3,500	8	¥28,000	¥500	¥27,500			
8		2016/7/11	¥2,800	4	¥11,200	¥2,000	¥9,200			
9		2016/7/12	¥2,800	7	¥19,600	¥3,000	¥16,600			
10		2016/7/15	¥3,500	5	¥17,500	¥2,000	¥15,500			
11		2016/7/18	¥2,800	8	¥22,400	¥3,000	¥19,400			
12					¥0		¥0			
13					¥0		¥0			
14					¥0		¥0			
15										

第02章:複雑な条件付き書式とユーザー定義の表示形式

02章01節…復習：基本的な条件付き書式

(01)以下のような表を作成しましょう。H列は計算部です。

G列の値からF列の値を引いています。F～H列は「通貨表示形式」にします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位	
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000	
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000			
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000			
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000			
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000			
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0			
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000			
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000			
11											

(02)[性別]欄に条件付き書式を設定します。

「男」の場合はフォントの色が「青」になるようにします。

1. セル D3:D10 を選択

2. [条件付き書式][新しいルール]

(03)[指定の値を含むセルだけを書式設定]を用い、[セルの値]「次の値に等しい」「男」を指定します。指定後は[書式]をクリックします。

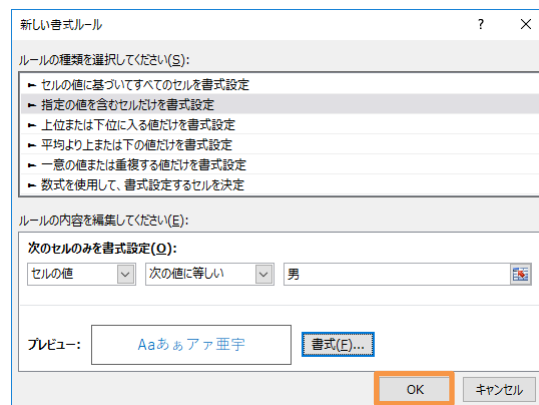
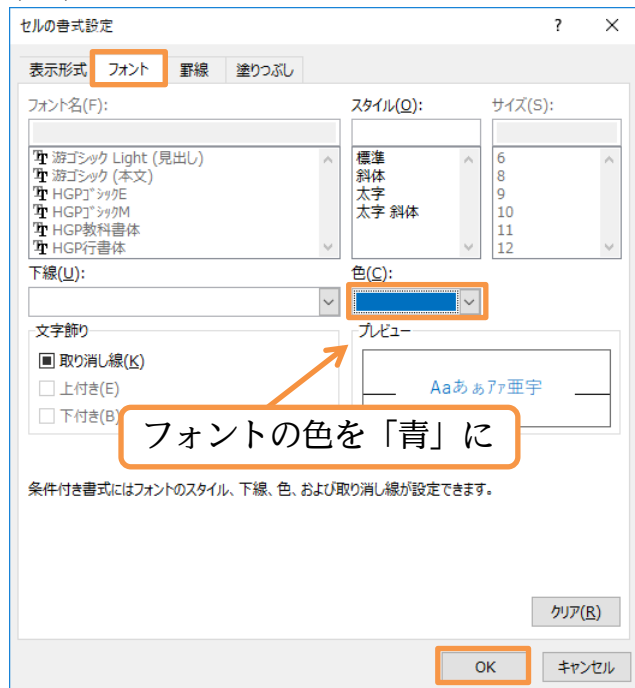
1. [指定の値を含むセルだけを書式設定]を選択

2. 条件欄に[セルの値]「次の値に等しい」「男」を指定

3. [書式]

「男を含む」のように「次の値を含む」を使う場合には[セルの値]ではなく[特定の文字列]を使う

(04)フォントの色を「青」にしてOK・OKします。



(05)性別が「男」の場合、「D列」の[性別]欄に色が付きました。

次の項では性別が「男」の場合、左にある「C列」の[氏名]欄に色を付ける予定です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位		
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000		
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000				
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000				
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000				
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000				
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0				
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000				
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000				
11												

02章02節…数式を使用する条件付き書式

(01)再び「男」の場合に文字色が付くよう設定します。ただし色を付ける欄はC列の氏名欄です。文字色を設定したいC列を選択して条件付き書式を使います。

1. セルC3:C10を選択

2. [条件付き書式][新しいルール]

条件判断の根拠となるセルはD列にあるが、書式はC列に適用したい

(02)書式設定をするセルと、条件判断の根拠となるセルが異なる際は「数式を使用して、書式設定するセルを決定」を使います。そしてルール欄に、選択個所の先頭セル(C3)はどんな条件の時に書式設定がオンになるのかを指定します。「D3="男"」と指定します。

	A	B	C	D	E
1					
2		社員番号	氏名	性別	年齢
3		1001	藤井	男	
4		1002	森	女	
5		1003	青木	女	登録
6		1004	細田	男	
7		1005	林	男	不明
8		1006	平山	女	
9		1007	和田	男	
10		1008	斎藤	女	

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に入る値だけを書式設定
- 平均より上または下の値だけを書式設定
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を満たす場合に値を書式設定(O):

=D3="男"

プレビュー: 書式が設定されていません

書式(E)...

OK キャンセル

(03)「D3」を指定すると自動的に絶対参照マークが設定されます。書式を設定するセルは「C3,C4,C5,...(藤井,森,青木)」となっています。条件セルは「D3,D4,D5...(男,女,女)」と変わります。絶対参照のままではすべてのセルで「D3」が条件判断の根拠セルに採用されてしまいます。条件判断用のセルの行番号が「3→10」と変化するように絶対参照マークを調整しましょう。設定後は[書式]をクリックします。

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に入る値だけを書式設定
- 平均より上または下の値だけを書式設定
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を満たす場合に値を書式設定(O):

=\$D3="男"

プレビュー: 書式が設定されていません

書式(E)...

OK キャンセル

「\$D3」でも「D3」でもかまわない

1. 「\$D\$3」を「\$D3」に

2. [書式]をクリック

(04)今回はフォントの色を「緑」にしてOK・OKします。

セルの書式設定

表示形式: フォント 罫線 塗りつぶし

フォント名(F): 游ゴシック Light (見出し)

スタイル(O): 標準

サイズ(S): 6

下線(U):

色(C): 緑

文字飾り

取り消し線(K)

上付き(E)

下付き(B)

プレビュー: Aaあぁ7ア亜宇

条件付き書式にはフォントのスタイル、下線、色、および取り消し線の設定が必要です。

クリア(R)

OK キャンセル

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に入る値だけを書式設定
- 平均より上または下の値だけを書式設定
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を満たす場合に値を書式設定(O):

=D3="男"

プレビュー: Aaあぁ7ア亜宇

書式(E)...

OK キャンセル

フォントの色を「緑」に

(05)書式を設定するセルと条件判断の根拠になる値が入力されているセルとが異なる場合には、「数式を使用して、…」のルールを採用するのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位	
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000		
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000				
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000				
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000				
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000				
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0				
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000				
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000				

(06)練習です。今度は[年齢]が「30以下」の場合、レコード(行)全体が黄色で塗りつぶされるよう設定します。全レコードを選択して条件付き書式の設定をします。

1. セルB3:H10を選択

2. [条件付き書式][新しいルール]

(07)先頭セルの B3 を基準に考えます。「E3<=30」という論理式をルールに設定します。

1. 「数式を使用して、書式設定するセルを決定」

2. ルール欄に「E3<=30」と指定

(08)各行の E 列の値を使って書式を設定するかどうかの判断をします。

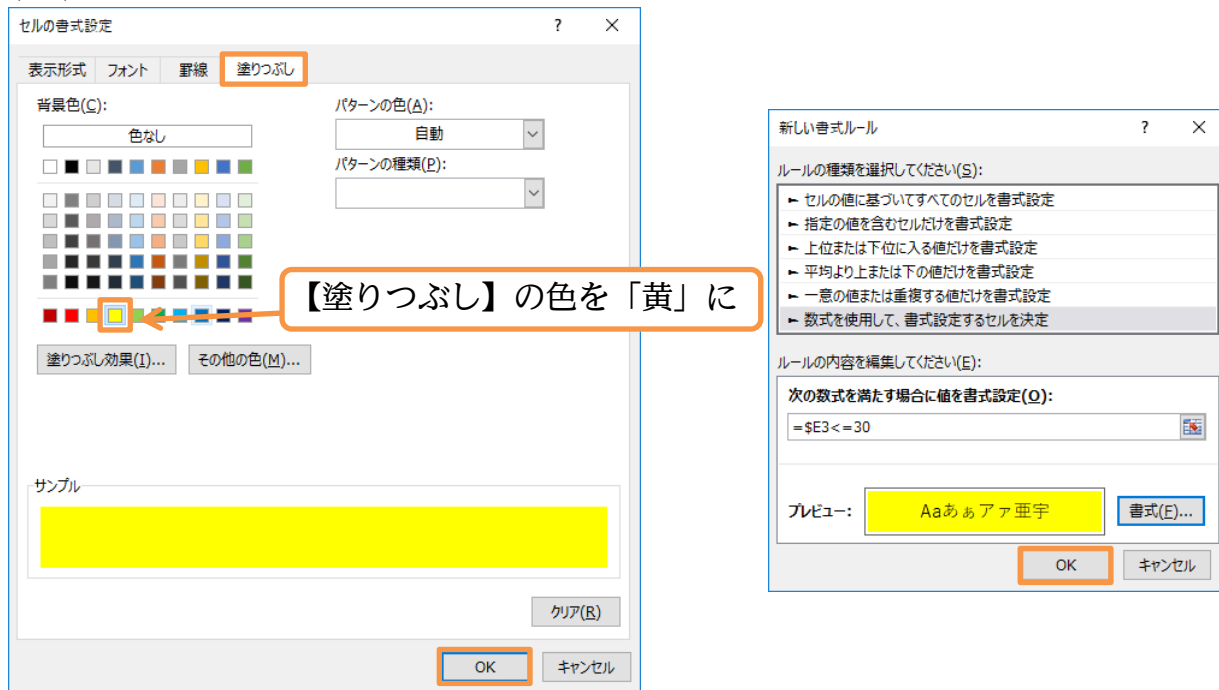
絶対参照の設定を「\$E\$3」から「\$E3」へと変更してから書式の設定をします。

1. 「\$E\$3」を「\$E3」に

2. [書式]をクリック

各行の E 列の数値が 30 以下になっているかを調査させる

(09)【塗りつぶし】の色を「黄」にしてOK・OKします。



(10)[書式設定をしたいセル]と[条件判断の根拠になるセル]が異なる場合における条件付き書式の設定方法について学習しました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位		
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000		
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000				
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000				
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000				
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000				
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0				
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000				
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000				
11												

02章03節…正の場合と負の場合の表示形式を分ける

(01)H列の表示形式において、プラス(正)の場合には「¥+〇,〇〇〇」と表示されるよう設定します。正の場合と負の場合とで別々の表示形式にするのです。選択してユーザー定義の表示形式を設定します。

